



株式会社 現代ぷろだくしょん

昭和20年5月1日に満州に向かう信州の開拓団。  
何故、敗戦まぢかに行ったのか？……



映画製作に  
ご協力ください

満蒙開拓団の落日

望郷の鐘

協力・阿智村  
満蒙開拓平和記念館



妻・文枝役  
渡辺 梓



主演：山本悠昭役  
内藤 剛志



娘・冬子(周麗華)役  
星奈 優里



記者・依田役  
山口 馬木也



マーマイ役  
磯村 みどり



久美子役  
勝又 さゆり



奥寺康彦  
(特別出演)



美奈子先生役  
常盤 貴子



「はだしのゲン」  
「裸の大将放浪記」  
「白い町ヒロシマ」  
「キムの十字架」……  
の現代ぷろが贈る最新作!!

想い出は かくも悲しきものか  
祈りをこめて 精一杯つけ  
大陸に命をかけた 同胞 (はらから) に  
この鐘を送る 疾く願せよ  
日中友好の手をつなぎ  
共に誓って 悔を踏まじ  
大陸に命をかけた 同胞に  
静美しく 望郷の鐘

【悠昭が鐘に對んだ詞】

李麗仙 堀内正美 達淳一 草薙仁 福原圭一 撮影：長田勇市 美術：丸山裕司

「石井のおとうさんありがとう」  
「筆子・その愛 ー天使のピアノー」 児童福祉文化賞受賞  
「大地の詩ー留岡幸助物語ー」 厚生労働省社会保障審議会推薦作品

山田火砂子監督 (2011年度児童福祉文化賞特別部門受賞)

原作 (しなのき書房)・脚本：和田 登 プロデューサー：国枝秀美 監督：山田火砂子

製作：(株)現代ぷろだくしょん

## 製作意図

三浦綾子原作の『母』という、小林多喜二とその母の話の映画化権を頂いて、この作品を先に撮影するつもりでした。しかし、今は、日本は秘密保護法案を成立させ、だんだんおかしくなっていると思います。日本は第二次世界大戦に負けて二百万人近くの非戦闘員を殺され、日本の主要都市はほとんど丸裸になるように、戦災で灰になってしまった。あれから来年で七十年がたちます。現在日々暮らしている方々の中に、戦争に負ける苦しさや辱めなどを知らない方々が、総理大臣以下、国民のほとんどだと思います。

七十年以上前、日本で多くの国民が中国への侵略戦争とは知らずに、満州開拓団に入り入植していきました。開拓団が経験したような悲惨、残酷な事実を知らない。又、満州国という日本が作った、十四年近く中国北東部にあった幻の帝国に、中国人の人達の土地を日本軍部が鉄砲で脅し、火をつけたりして追い出し、そこに日本から何も知らない人達、満蒙開拓団として送り込んだのである。その人達が戦争に負けて、ロシア軍に散々な目にあう姿を戦争の悲惨さを通して、二度と戦争をしない国、日本になってほしくてこの映画を作ります。

是非平和を愛する皆様のご支援を賜りたく思います。映画製作協力券にお力を貸してくださいれば感謝です。映画の完成は十一月を予定です。

監督 山田 火砂子

## あらすじ

中国残留日本人孤児は、日本政府が発動した中国侵略戦争の最大の被害者です。敗戦後、肉親と生き別れや死に別れとなりました。九死に一生を得る人生に遭遇しました人も肉親に会いたい、祖国への思いの中で四十数年の月日がたってしまいました。日本政府は無情にもこの人達を見捨てる政策をとり、死亡宣告までしたのです。一九七二年、日中の国交が回復した時、政府は直ちに孤児の肉親探し、帰国手続きをしませんでした。その中で必死に肉親探しの運動をした山本慈昭さん。慈昭さん自身も満蒙開拓団長野県阿智郷開拓団の一員として出かけ、敗戦の日シベリア送りとなり抑留された後に、日本に帰り着くと妻子は満州の地で亡くなった事を知る。ところが、娘の一人が生きているらしいと知り、最初は自分の子供を探していたが、多くの孤児の人達に出会い、他人の子供の事もと考え始める。この映画は開拓団の苦悩と孤児の帰国運動に生涯を捧げた山本慈昭さんのおはなしです。

## 完成披露有料試写会

女優・渡辺梓さん来岡!!

**12月9日(火) 岡山市民会館** ①14:30 ②18:30

各回とも上映前に舞台挨拶あり

**前売券** 一般 / 1,200円(当日1,500円)

※製作協力券でもご覧いただけます。



渡辺梓さん  
(山本慈昭の妻・文枝 役)

お問い合わせ

- 日中友好協会 岡山支部 TEL090-8240-2001(事務局長 小林軍治)
- 岡山県労働組合会議 TEL086-221-0133
- 映画「望郷の鐘」製作上映推進委員会・おかやま(事務局:中国共同映画(株)内) TEL086-223-0904 FAX223-9844